

増穂だより



芝浦工業大学柏中学高等学校 〒277-0033 千葉県柏市増尾700番地
TEL : 04-7174-3100(代) FAX : 04-7176-1741
URL <http://www.ka.shibaura-it.ac.jp/>

■編集 / 芝浦工業大学柏中学高等学校 総務部
■発行日 / 令和元年12月23日 発行
■印刷 / 株式会社横浜総合写真



Contents

■各部情報 (生徒/厚生/進路/情報教育/入試広報/総務) ……	2P	■思い出 (中学運動会/中学合唱祭) ……	7P
■各部情報 ~グローバル委員会~ (海外ホームステイ/海外大学説明会) ……	3P	■増穂祭/中学運動会/中学合唱祭/芸術鑑賞会 ……	8P
■各部情報 (保健室/研究/クオレ/事務室) /生徒会情報 (中学/高校) ……	4P	■創立40周年式典・祝賀会 ……	9P
■学年情報 (中学/高校) ……	5P	■PTA情報/後援部情報 ……	10P
■思い出 (増穂祭) ……	6P	■教科情報 (国語/社会/音楽/新しい先生) /トピックス ……	11P
		■トピックス/あとがき ……	12P

各部情報

生徒部 冬休みに向けて

いよいよ冬休みを迎えますが、現在、小中学生がSNSにより被害を受けるという事件が起きていることを、皆さんはご存知でしょうか。SNSを通じて知り合った大人から、「会おうよ」と言われて、連れ去られるという事件でしたが、同じような事件が他にもありました。ですから、冬休みなどにSNSで知り合った人から「会おう」と言われても、絶対に会ってはいけません。まずは自分の身は自分で守る気持ちを持ってください。これは、高校生も同じです。保護者の皆様も、ご注意ください。また、10～20代で平日3時間以上ゲームをしている人が2割以上いるという調査結果も出ました。本校でも相変わらず禁止されているにもかかわらず、スクールバスでスマホを見ている生徒が多くいます。ちょうどよい機会ですので、スマホとの関わり方を、見直してみてください。

情報教育部 G suiteを用いた取り組みとchromebook

本校は昨年度よりGoogleのG suiteを使い始めました。先進的な実験的取り組みを、情報教育部と情報企画部を中心に進めています。その一部をご紹介します。朝のホームルームでは連絡事項をGoogleClassroomに書き込み、プロジェクターで映します。こうすることで、クラス間で伝達事項の齟齬が生じる事はなくなり、担任はクラスの時間をより効果的に使っています。文化祭では、教員を交え生徒同士が連絡手段として有効活用していました。中学1年生は、グリーンスクールの発表内容をGoogleSlidesにまとめることで、クラウドを用いた共有ファイルの概念を学び、自宅にしながら共同編集することの利便性を学ぶことができました。G suiteによって生徒の学びの可能性は広がっています。情報教育部ではその可能性をより引き出すために、chromebookの導入準備を進めています。

厚生部 厚生部より

中学福祉委員は夏休みに「いずみ園」で夏祭りの手伝い等のボランティア活動を行い、増穂祭でポスターを展示しました。中学保健委員は、健康に関するアンケートを実施し、学年ごとに集計した結果を増穂祭でポスター展示しました。高校福祉委員は夏休みに逆井駅周辺のゴミ拾いボランティア活動に参加し、増穂祭では台風15号義捐金募金活動を行い、72,270円を寄付しました。



入試広報部 学校説明会を終えて

今年の学校説明会も12月15日の中学入試説明会を持ちましてすべて終了しました。今年の説明会では、高校の学校説明会で生徒会役員、文化祭実行委員、合唱祭実行委員の生徒達に「行事の説明」や「校内案内」の手伝いをしていただきました。説明会に参加した受験生からは「生徒の生の声が聴けてとてもよかった」また、保護者からは「芝柏生の様子がよくわかった」などの声も聞かれ、非常に好評でした。また、毎年増穂祭にてPTAの方に学校のPRをしていただいております。こちらも好評です。ありがとうございます。本校の広報活動は在校生や保護者の皆様に支えられていると実感しており、感謝の言葉もありません。1月よりいよいよ本校の入学試験が始まります。入試準備日から試験当日、発表日まで、説明会に引き続きご理解ご協力をお願いいたします。

進路部 まずは自分のことから

2021年度、英語4技能外部検定成績提供システムの実施が見送られることが決定し、大学入試改革が迷走しています。共通テストでの記述試験の扱いに関しても、もしかしたら英語のリスニングの配点も・・・などと疑心暗鬼になりがちです。しかし大切なのはどんな試験形態となっても厚みのある基礎学力がしっかりしていればいくらかでも対応できるという点です。英語の民間試験がなくなるわけではないので4技能を求められる方向に変わりはなく、記述試験はいずれにしろ2次で必要ですから右往左往しないでまずはしっかりと学習に取り組む、これに尽きるわけです。中学生は高校進学について、高1は文理選択、高2は具体的な学部学科を見据えた科目選択など自身の進路について、将来について真剣に考える時期です。この1年の自身の行動を見直し、しっかりとした目標を立てて新しい年を迎えられるようにしましょう。

総務部 関連行事の報告

文化祭以降の総務部が関連する行事について、報告します。11月4日に生徒向けの40周年記念講演、11月9日には、40周年記念式典と祝賀会が行われました。祝賀会では高校12期卒業の木戸章之氏による講演や22期卒業の山下暁子さんのピアノ演奏などが行われ、40年間の柏高校の歴史を振り返り、次の10年に向けて新たな決意で歩み始めることを確認しました。また、11月5日には、生徒に告知なしでの避難訓練が行われ、地震や火災などの非常時の体制について確認をしました。11月13日には芸術鑑賞会が行われ、中学校は狂言、高校生は歌舞伎を鑑賞し日本の古典文化に触れることが出来ました。12月7日には文化講演会が行われる予定で今年も、講師として池谷裕二氏をお願いしております。節目の一年となりましたが、新しい年に向けても頑張りたいと思います。

各部情報～グローバル委員会～

英国ホームステイ イギリスホームステイ短期留学

中3～高2生37名が7月18日から17泊19日でロンドンとボーンマスの2都市に滞在しました。ロンドンではロンドン大学(UCL)を訪問し、模擬講義を受講し、キャンパスツアーに参加しました。また、バッキンガム宮殿や大英博物館などを訪れ、本場のミュージカル「Aladdin」を鑑賞しました。ボーンマスではホストファミリー宅に滞在し、平日は午前中に英語の授業を受け、午後はアクティビティや小旅行を楽しみました。週末はオックスフォードやバースを訪れ、イギリスの文化や歴史に触れました。今年の事前学習会では、この留学プログラムに参加し、ロンドン大学(UCL)へ進学した本校卒業生が来校し、自身の留学経験談を語ってくれました。



オーストラリアホームステイ オーストラリア短期留学

高1生14人はクイーンズランド大学付属の語学学校IESで18日間、英語漬けの生活をしました。IESはブリスベン中心部から徒歩20分の閑静で安全なところにあります。スタッフも親切で生徒たちは安心して学校生活を楽しんでいました。午前中は英語漬けの授業を満喫し、午後はクリケットやサッカーなどのスポーツをしたり、アポリジナルアートを経験したりしました。週末はムービーワールドという遊園地でジェットコースターに乗ったり、動物園でコアラと一緒に写真を撮ったりといった楽しみも経験しました。短期留学で得られることは多いと思いますが、中でもホストファミリーや他国から来た留学生と交流し、英語を生きた言語として使う良い機会を得ることができたこと、英語ができれば様々な人々とコミュニケーションが図れるということを感じたことが大きかったと思います。



アメリカホームステイ アメリカホームステイ短期留学

今年度からアメリカホームステイ短期留学も始まり、夏休み中の17日間に及ぶプログラムで、中学3年生～高校2年生の希望者約40名が参加しました。このプログラムにはニューヨーク訪問が含まれ、メトロポリタン美術館、グラウンドゼロを訪れたり、ブロードウェイミュージカルを観劇したり、マンハッタン島のセントラルパークから南のブルックリンブリッジまで散策しました。ニューヨークからはアムトラックを利用してホームステイが実施されるボストン市内に移動しました。ダウンタウンの学校でアメリカンイングリッシュを学び、様々な国の留学生と知り合いになり、共にコミュニケーション力を高めました。午後のアクティビティには、世界ランキング上位のマサチューセッツ工科大学(MIT)、ハーバード大学訪問が含まれ、それぞれ現役大学生に案内してもらいました。英語で説明されていたにも関わらず、ノーベル賞受賞者や大統領を多く輩出している大学であるという説明を聞いている時は特に興味を持って生徒は聞いていました。今回のアメリカホームステイ短期留学によって、自分の将来に対する希望などが生まれ、ポジティブな自分を見ていくきっかけができたのではないかと思います。



SSC III ホームステイ カナダ語学研修

SSCⅢカナダバンクーバー語学研修に、高校3年生でSSCⅢを受講する生徒の中から2名が選ばれ、ILSC-Vancouver Language Schoolsにて、8月11日(日)～25日(日)の15日間語学研修を行いました。参加した2人とも初めてのカナダに興味津々で、渡航前の下調べも入念に行っていました。午前は英語学習をし、午後はアクティビティに参加したり、自分で計画を立てたところに出掛けたりと積極的に活動していました。帰国後、参加した2人に話を聞いてみると、自分で計画を立てて過ごすことが出来て、海外での暮らしに自信を持つことが出来た、そして他の国にも行ってみたいと話してくれました。ホームステイを楽しく過ごせたかどうかは、どれだけコミュニケーションをとれたかに関わってきます。この語学研修に参加を希望する人はぜひ英語検定2級以上の取得を目指してほしいです。



カナダホームステイ カナダホームステイ短期留学

今年度から実施したカナダホームステイ短期留学では、中3～高2の22名の希望者が、夏休み中の17日間バンクーバーに滞在しました。到着後、すぐにホストファミリー宅にホームステイし、平日は9時から15時まで語学学校で英語の授業を受け、英語の基本4技能を授業はレベル別クラスで徹底的に学びました。授業時間やホストファミリーとの時間が長く、放課後のアクティビティ(スタンレーパークやキャピラノ吊り橋、展望台、ハイキング、ブリティッシュ・コロンビア大学(UBC)キャンパスツアーなど)や、滞在中3度の週末の日帰り旅行で訪れたウイスラーや水族館、遊園地など、様々な体験を通じて自己表現する大切さを学ぶことができました。



海外大学留学・進学説明会 イギリス・オーストラリア説明会

希望生徒に2014年度のUniversity College London(2020世界大学ランキング8位 東大は22位)の説明会から、年々説明会の幅も内容も進化を遂げています。今年度行った海外大学説明会の内容は英国大学入試制度、オーストラリア大学説明会にトップ校The university of Queenslandの参加、理系生徒向けのQueensland University of Technology 模擬講義等、現地大学入試担当者が来校し、お話を直接頂ける機会を得ました。当初教室で行っていましたが、規模実績は年々増加し今現在は常時100組を超え人数増加中です。文科省推進の「トビタテ! 留学JAPAN」に代表されるように、世間の海外大学に対する興味関心の高まりが年を追うごとに感じられる状況となり、日本の大学と共に海外大学を進学候補の一つとして当たり前に考える時代はすぐそこまで来ています。そのニーズをサポートする機会の一つとしてご利用下さい。



各部情報

保健室 上手に休養をとろう

疲労の回復は、心身の健康の保持・増進に加えて、学業や労働、スポーツなどのパフォーマンスの維持・向上において重要な役割を果たします。この疲労の回復に欠かせないものが休養です。

休養には、睡眠など静かに体を休める方法の他に、軽い運動など、体を動かして疲れをとる「積極的休養」という方法があります。疲れている時に体を動かすと、さらに疲れてしまうのでは？と思うかもしれませんが、運動後に軽い運動を取り入れることで、体内に蓄積された血中乳酸の消失を促進し、疲労の回復につながります。また、心理的効果として抑うつやストレスの軽減、ポジティブ感情の増加、ネガティブ感情の減少などの効果があります。疲れたと感じた時、ストレッチやウォーキングなどの軽い運動を試したり、趣味に没頭してみたり活動的に過ごしてみるのもおすすめです。

クオレ 当たり前のことのありがたさ

令和元年が終わろうとしています。元号が替わる、という大きな節目の一年となりましたが、お一人お一人にとって、どのような一年だったでしょうか。

千葉県内の出来事を振り返ってみると、大きな災害に見舞われた年となりました。台風に伴う大雨、強風は、日常生活に大きな影響を与えました。日頃、「当たり前」と思って使っている電気や水のありがたさを痛感させられました。どれだけ電気に依存しているか、どれだけ生活の中で水が大切か、改めて考える機会となりました。

ルーティーンの繰り返しである毎日の生活は、実は大変なことなのかもしれません。当たり前とと思っている生活、毎日の普通の日々を大切に過ごしていきたい、そんな思いを強くした一年でした。

令和二年が、穏やかな一年でありますように。

研究部 SSH 福島研修を実施しました

11月22～23日、「福島の復興を支える科学の現在と未来」というテーマで、一泊二日の研修を行いました。参加者は高校1・2年生35名です。あいにく雨模様の二日間でしたが、相双地区(津波と原発事故の二重被災地域)で多くの方から直接お話を伺い、また津波や原発事故の爪痕も見学しました。東京電力の方、土壌を除染する現場の清水建設の方、事故後東電を退社し語り部として活動されている方、住民が戻って来ない浪江町の新たな町づくりで首都圏から飛びこんでいった方、農業の復興に斬新な切り口から取りくむ方、こうした方々との対話では、生徒たちからの質問が続き予定時間を大幅に超えることも多く、みなさん大変に喜んで下さいました。また事故後、5つの県立高校を統合して作られたふたば未来高校も訪問し、同世代との意見交換も行いました。現在参加者有志で、全校への報告を準備しております。

事務室 事務室より「冬」の連絡

【職員異動】

2年半にわたり窓口・後方のいずれでも八面六臂の活躍をしてくれた長島久美子さんが9月末で退職し、後任として竹内玲子さんが着任しました。よろしく願いいたします。

【年末年始の事務室窓口対応】

年末は12月25日(水)16:30で終了し、年始は1月7日(火)8:30から再開します。年末にJR学割証が必要な人は12月25日(水)までに申請してください。

【スクールバスの運行】

年末は12月27日(金)で終了し、年始は1月4日(土)から再開します。時刻表についてはウェブサイト等に掲出しますので、利用予定者は確認してください。

【落とし物・忘れ物】

“落とし”や“忘れ”に心あたりのある人は、冬休み前に一度ぜひ事務室後ろ側廊下のショーケースを見に来てください。

生徒会情報

中学 中学生徒会の活動報告

4月から新入生対面式・歓迎会、部活動予算折衝と生徒総会(予算)、定例代表委員会に生徒総会(議案)と、盛りだくさんの内容でした。それでも議案編を終業集会后に実施できるようにし、例年より議案に対する準備はできたのではないかと思います。また今年から全校集会時の司会を生徒会が行うようになり、初めてということで緊張は見られましたが、上手に進行しています。もちろんまだまだ力不足の面もありますが、何事も経験しなければ上手くはなりません。今後ますますの成長を期待したいと思います。その他に生徒の意見をより広く聞きたいという思いから、意見箱を一新し、代表委員会でその意見に対する返答をしっかりと行っています。生徒の意見全てに返答することはとても難しいですが、生徒会一同忙しい中よく調べていると思います。今後も生徒会の活動を温かく見守っていただければ幸いです。

高校 高校生徒会の活動報告

今年度は本校創立40周年ということで、記念式典で中高生徒会代表と昨年度全国Webコンテストにて最優秀賞を受賞したチームに芝柏の紹介をしてもらいました。その中で歴代の中高生徒会長に集まっただき、芝柏の歩みと今後について話し合った座談会の様子を上映いたしました。歴代会長たちの立派な姿や思いに、現生徒会メンバーも大いに刺激を受け、素晴らしい座談会になったと思います。当日の発表も上手くいき、来賓の方々にもお褒めの言葉をいただき、とてもよく頑張ってくれたと思います。今後50周年に向けて、生徒会も益々の活躍をしていって欲しいと改めて感じました。



学年情報

中学1年 思いやりのある仲間

シバカシ三大大行事である増穂祭、運動会、合唱祭が終わりました。保護者の皆様におかれましては、お忙しい中、学校行事に足を運んでいただき、ありがとうございます。合唱祭では1年生らしい素晴らしい歌声を響かせました。アンコールを歌う3年生の姿をみて「かっこいい!」や「私たちも2年後には先輩のようになりたい!」といった感想が数多くありました。2年後にはお互いを思いやり、それぞれの個性を認められる集団として、あの舞台上で素晴らしいハーモニーを奏でる姿を見せてくれると信じています。学習面については中学1年生の段階では授業を中心に基礎学力をきちんと涵養し自主的な学習習慣を定着させることが大切です。ご家庭での声掛けも引き続きよろしくお願いします。生徒の皆さん、年末年始はダラダラと過ごしがちですが学習計画を具体的に立てて日々を過ごしてください。

高校1年 入学から半年が過ぎました

この半年いろいろありました。一人一人が様々な思いを胸に今現在に至っていることと思います。そして今、また【2年次カリキュラム選択】という大きな選択をしようとしています。将来への希望を抱いて、是非この一瞬一瞬を大切に、精一杯色々なことを頑張ってください。出来ないことを思い選択の幅を縮めるのではなく、出来ないことを出来るようにする選択をしてください。ただ、その選択は責任を伴います。自分自身の枠から出て、今までと違った自分を、是非見せて欲しいと思います。頑張れ、40期生!困ったら相談してください。いつでも応援しています。



中学2年 最上級生になる準備をしよう

増穂祭、運動会、合唱祭の三大大行事が無事終了しました。保護者の皆様におかれましては、数々の学校行事に足を運んでいただき、ありがとうございます。9月以降の部活動では、3年生の引退によって中心学年となりました。個人または集団として、教室とは異なる役割や表情、活躍が見られ、成長が感じられることにとても嬉しく思います。また、今年から参加したWebコンテストの活動では、それぞれの興味関心から決めたテーマは多種多様で、テーマ名を見るだけでも生徒たちの思いが伝わる楽しいものになりました。時間をかけて探究してきたことが、のちの進路や学びの幅を広げるきっかけになってほしいと願います。年明けには職場体験、イングリッシュキャンプなどの学校行事が控えていますが、同時に学習の総決算の時期でもあります。日々のやるべきことを実践し、学習と学校生活の両輪を同時に回せるタフさも身につけてほしいと思います。

高校2年 覚悟を決めて前に進む

大学入試英語成績提供システムの導入先送りが発表されるなど、見通しの立てづらいつ中ではありますが、後期に入ると同時に、生徒たちの受験への意識が一段階上がったように感じます。次年度のカリキュラム選択では、過度に夢や希望に引張られないよう、冷静に成績や自分のこれまでの取り組みを分析し、選択に責任をもち、覚悟をもって前に進めるようアドバイスを送ってきました。自分自身と向き合う作業は、生徒たちにとって苦しいものではありますが、下した決断の成否は今決まるものではありません。決断を成功とするのも失敗とするのもこれからの自分次第と、励ましていきたいと思っています。



中学3年 ともに最高の1年に(3)

少しずつ高校進学後を考える時期になってきました。連絡進学をする皆さんには、卒業に伴う受験や別れがありません。校舎を変え、新たな仲間も加わりますが、同じ顔ぶれがまた集います。時々、受験や別れがあったら、君たちは残りの日々をどんな風に過ごすのだろう、と考えます。この多感な時期にこれらを経験することによって大きな意味や心の成長があるはずですが、それを経験できず、何か大事なものを素通りしてしまうのではないかと、とも。しかし、だからこそ別の何かがあるのだとも思います。そしてそれは我々大人が与えるものではなく、君たち自身の中で人知れず芽生えるものであってほしいと願います。「思いやりと向上心」を育んできた君たちと、残された中学生としての時間をどんな風に送ろうか。これまで通り変わることなく、でも最高の1年として締めくくするために。お互い、最後の仕事です。

高校3年 現役の強み

毎日を楽しみながら、皆さんは自分の決めた方向に進んでいると思います。「何が楽しいのか」と皆さんは言うかもしれませんが、皆さんは後になってあれは楽しかったのだ、と思うようなことを今行っているのだとお伝えしておきます。ある人が傍から見ても、その本人はただ目の前のことに夢中になっているだけで、食事の時間や寝る時間も忘れて集中していることもあります。おそらくこれからは、皆さんはこのように集中するレベルに達していくと思われます。まだまだ皆さんの持っている力は未知数で、自分を褒めちぎり、自分を尊敬してください。今の自分は昨日の自分より成長していると、自分の伸びを喜び、「どこまででも行ってやる」という気持ちを忘れないでください。すべてをポジティブに捉えていけば、必ず先が見えてきます。今の努力を止めないでください。現役は限りなく伸びます。特にこれからの3か月間は全く違う自分になります。違う自分と会えるのを楽しみに進んで行きましょう。

● 増穂祭 ●

第40回増穂祭を終えて

高校実行委員長

心配だった天候にも恵まれ、昨年度より多い5308人の方にご来場いただき、昨年に続き過去最高の来場者数となりました。ご来場いただいた皆様に、そして増穂祭の成功のため力を貸していただきました多くの方々に、この場を借りまして御礼申し上げます。すでに文実では来年の増穂祭に向け動き出しており、11月に実施した在校生アンケートの結果や意見等をもとに様々な検討を行っています。来年以降の増穂祭では様々な改革、新たな取り組みが行えるよう進めています。第41回増穂祭もぜひご期待ください。

令和のトップバッター

中学実行委員長

こんにちは！中学文化祭実行委員会委員長の坂本です。今年の増穂祭は、四十周年の節目の大事な年であり、僕たち中学文実は、おもにスタンプラリーやエンディングセレモニー等中学生に関することを担当しました。しかし、思うようにいかないこともあり、増穂祭当日まで上手にいくか不安な部分もありましたが、当日は中学文実の活動もスムーズに進み、今年も非常にいい文化祭になったと思います。今年度、僕たちは令和最初のスタートを切れたので、次の代もより良い増穂祭になって欲しいです。

● 中学運動会 ●

人の上に立つ初めての経験

実行委員長

元号が令和へと変わった節目の年に運動会実行委員長を務めさせて頂いた坂口です。今年は昨年まで二年連続で努めていた合唱祭委員ではなく運動会実行委員会に挑戦しました。

準備や当日の仕事など経験の無いことをミスなくできるのかという不安もありましたが、他の委員や先生方の協力もあり、大きな問題もなく無事に終えることができました。

今回させていただいた貴重な経験をこの先の中学、高校生活に生かしていきたいと思います。

クラス演劇最終幕（増穂大賞-高校）

文化祭で演劇をすることは、最初から決まっていた。中には反対する生徒も存在しましたが、その意見も当然のことです。少ない練習時間の中、演劇初心者の多いこのクラスで演劇を成功させるのは、皆に無理を強いることと同義でした。それでも懸命に頑張ってくれたクラスメイトには、感謝してもしきれません。もがき続けた日々が、賞という最高の結果で報われたこと、これ程に有難く、嬉しいことはありません。高校生活最後のクラス演劇が、皆にとって文化祭に纏わる素敵な記憶となりますように。

演じることの楽しさ

3年D組ではグアムの文化や歴史に基づいた演劇を発表しました。脚本を一から創作し、意見を出し合いながらクラス全員がそれぞれの役割に全力で取り組みました。オープニングセレモニーで披露したチャモロダンスを演劇に組み込むなどの工夫をし、楽しみながら演じることができました。



皆で勝ち取った優勝

優勝応援団長

初めてリーダーという立場を務めて、人をまとめることの難しさを感じましたが、優勝という結果につながったことで達成感も味わうことができました。緑組が優勝できたのは、応援団みんなの協力があったからだと思います。団旗作成や演技を決める時は、何度も議論を重ね、時には言い合いになったこともありました。それもみんなの積極的な姿勢があったからこそだと思います。頼りないリーダーでしたが、協力してくれた人たちに感謝しています。ありがとうございました。



● 中学合唱祭 ●

中学合唱祭を終えて

各クラスの皆さん、素晴らしい合唱がありありがとうございました。無事、合唱祭を終えられてホッとしています。僕にとっては、緊張と楽しさが入り混じった不思議な1日でした。事前準備から当日の運営まで、達成感や反省点など、とても学びの多い体験でした。そして、自分のクラスの歌声だけでなく、他のクラス、学年の合唱も忘れられない良い思い出となりました。真剣に心を込めて歌い、静かに合唱を聴いて、結果発表も盛り上げてくれた皆さんのおかげです。協力してくださった仲間達、先生方、誠に有難うございました。

◇ 芸術鑑賞会 ◇

中高芸術鑑賞会

総務部

今年度のテーマは「古典芸能」。11月13日に中学生は国立能楽堂にて狂言、高校生は銀座歌舞伎座にて歌舞伎を鑑賞しました。

中学生は、初めに重要無形文化財総合指定者である石田幸雄氏の解説を聞き、続いて「附子（ぶす）」「蝸牛（かぎゅう）」の二演目を鑑賞しました。狂言は能舞台上で演じられる芸術ですが、能とは異なりおかしみや親しみを感じやすい作品ばかりです。「附子」の演目は狂言ならではの演出で子供たちを引き込みました。人間国宝の野村万作氏の演技に魅了された「蝸牛」も含め、生徒たちの記憶に残った舞台となりました。

高校生は、「研辰の討たれ（とぎたつうたれ）」、「関三奴（せきさんやっこ）」「梅雨小袖昔八丈（つゆこそでむかしはちじょう）」の三作品を鑑賞しました。林幸四郎や尾上菊五郎など、高名な歌舞伎役者の演技を堪能することができました。

芸術鑑賞の演目を聞いたときは「難しそう……」と曇った表情の生徒たちでしたが、演目が終わった後は笑顔で帰っていきました。

来年度のテーマはクラシック音楽です。生徒の新たな発見の場にできるよう、準備をしまります。

創立40周年式典・祝賀会

創立40周年記念式典 式辞

校長 野村 春路

本日は、柏市長 秋山浩保様、柏市議会議員 石井昭一様、千葉県私学教育振興財団理事長 福中儀明様、また千葉県や近隣の校長先生の皆様、多くのご関係の皆様方にご臨席を賜りまして、誠にありがたく、厚くお礼申し上げます。

本校は今年創立92周年を迎えた芝浦工業大学の伝統を踏まえ、1980年に新たな高校教育の創造をめざして、ここ柏市増尾の地に芝浦工業大学の併設校として創設されました。1990年から男女共学とし、1999年に中学校を開設、本年2019年、令和の始まりの年に、高等学校40周年、中学校21周年を迎えることになりました。

さて40年前の創立時に定められた建学の精神「創造性の開発と個性の発揮」は、この平成から令和に移り行く時代に、ますますその意義を強め、光輝いています。

この光輝いている点について触れさせていただきますと、本校は2009年に創立30周年の周年事業を行いました。それからのこの10年間は、21世紀における国際世界、そして日本の社会のありさまが大きく変化していることが、鮮明になった期間であったと思います。

日本においては、2011年の東日本大震災の惨禍により、それまで築いてきた様々なシステムがいかに脆弱なものであったかを思い知らされました。また世界全体に目を向ければ、情報技術の急速な発展による世界の一体化と人工知能の進化とその活用領域の拡大による社会の変化が、大きな波として押し寄せて来ました。

これらの大きな変革により、先行きが見通せない時を迎えています。そのような時であるからこそ、個人々々が主体的に考え、自分の個性を確かめ、創造性豊かに様々な問題に挑んでいく必要があります。これこそが本校の建学の精神であり、育てたい生徒の精神が、今の変革の時代に強く望まれていると再確認する次第です。

創立40周年記念式典

佐藤 文博

本校グリーンホールを会場として約1時間の式典は行われた。法人理事長、大学学長、本校校長による式辞、柏市長、私学教育振興財団理事長による祝辞は、いずれも40周年を迎えた柏高等学校のこれから進むべき道を示してくれるものであった。映像による歴代生徒会長の座談会は、創造性の開発と個性の発揮という建学の精神が伝統として根付いていることと、本校の最近10年間の進展を改めて認識させてくれた。Webコンテンツ文部科学大臣賞受賞者の発表は探究の授業の成果を示してくれるものであり、吹奏楽部員の歌った学園歌と校歌は出席者の心に届くものであった。131名のお客様と本校教職員が出席した厳粛な式典であった。

高校創立40周年祝賀会

中村 圭

11月9日（土）高校創立40周年記念式典に引き続き、祝賀会が本校体育館にて行われました。

和やかな雰囲気の中、高校22期卒業生の山下暁子さんとご友人の多田望美さんの連弾が披露されました。多田さんのアレンジしたPOPなメドレーもあり会場を楽しませてくれました。

また、高校12期卒業生のオリンピック木戸章之さんのトークショーも行われました。プロのアナウンサーである原元美紀さんとの対談や演技の映像に会場が大いに盛り上がりました。

このように40周年を迎えられたのも在校生・卒業生・保護者・近隣の方をはじめ多くの方々のおかげです。感謝いたします。



PTA 情報

PTA 活動報告

PTA 会長

今年の増穂祭PTA活動の様子を各部門長の生の声でお届けします。

《飲食販売部門》

じゃんけんで負けて引き受ける事になった部門長。ほとんど知り合いのいない中で、務まるかととても不安でした。今振り返ると、食品の値段交渉、段ボール5箱分もの調味料を購入、PC担当、可愛い装飾品を購入などの役割をしてくれた人は、「一人で頑張らないで」と言ってくれた高2のクラス役員の方でした。当日は、中1～高1の幹事全員が手際よく販売、調理をして下さり、男性の幹事の方々は大きな物等を運搬して下さいました。大量の金券を台紙に貼る作業も大変だったと思いますが、楽しかったと言ってくれた幹事の方々に、相談ののって下さった先生と本部の皆さん、本当にありがとうございました。私も楽しかったです！

《バザー部門》

右も左もわからない状態から、学年の違う10名の幹部でスタートしました。わからない事だらけで頼りない部門長だったと思いますが、幹部メンバーに恵まれて楽しく活動出来充実した一年になりました。大村先生麻生先生や事務室の方々はじめ、幹事40名、ボランティア57名の皆様のおかげで、増穂祭2日目の2時間という短い時間でしたが、購入者数386人、売上額も40万円を超え大きな混乱も無く大盛況に終える事が出来ました。提供品の整理や制服の採寸等の作業を、和やかにかつバリバリと片付けていく保護者の方々の姿は、清々しくさを感じる場面もありました。また、たくさんの制服や品物を提供して頂きました保護者の皆様、来場して下さいました保護者の皆様、バザーにかかわる全ての方々にこの場を借りてお礼申し上げます。

本当にありがとうございました。

《芝柏PRコーナー部門》

PR部門は文字通り学校の様子を来校して下さいの方々に見て頂く部門です。学年毎に写真を使用して行事の紹介や、いらした方にその説明をし、毎年恒例の「合

格定期」の配布をしました。また、昨年同様に校章入りのクッキー販売は勿論の事、新たな試みとして『なごみの米屋』さん協力のもと、校章入りお饅頭の販売を致しました。

おかげさまでどちらも完売し、その後も購入希望される方が多くいらっしゃいました。前日準備は勿論の事、私達保護者はとても楽しく和気あいあいと過ごす事が出来ました。頼りない部門長を支えて下さり、問題もなく無事に終える事が出来たのも【ONE TEAM】になれた皆様のおかげだと思います。この場をお借りしてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

《高3部門》

高3部門は、最終学年でなお且つお子さんが末っ子という保護者もいらっしゃったと思います。私もその一人で、これが最後と思役員に参加しました。初めは子供も参加しない文化祭に保護者がどの程度協力して下さいのかと心配もありました。ところが、そんな心配は全くありませんでした。役割分担においてはあつという間に手が上がり、むしろ自分の仕事を探るのが大変なくらい皆さん積極的でした。また、毎年その学年で自由に販売品目を決める事が出来るため、皆で意見を出し合い、試行錯誤して販売品目を決め、実際に販売練習・試食会などを行った事は、まるで自分が高校生に戻ったかのように楽しい思い出として記憶に残っています。当日は台風も懸念されましたが、幸運の女神が微笑み、その影響も無く大盛況で終了する事が出来ました。



《外部団体》

2日目には、今年も市内福祉団体の「朋生園」さんが物品販売で参加頂きました。

《文化委員会》

本年度の講演会のアピール及び参加者の募集を行いました。

後援部情報

上期および増穂祭活動報告

PTA 後援部部長

後援部は、保護者のみなさまからお預かりしているPTA会費の一部を芝柏の生徒や教職員の教育環境に役に立つ様にどのような支援をするかを検討し実行していく役割を担っております。施設・設備並びに教育用備品に関して、原則として中長期的視点を持って支援活動を行っております。

上期の活動報告として、昨年度から計画を進めておりました中学棟廊下・階段の塗装を無事に終え、同時に清掃用具箱もリニューアル致しました。生徒や保護者の皆様からはとても綺麗になり明るくなったと好評を頂いております。その他には、野球部の防球ネット、吹奏楽部楽器保管ロッカー、ハンドボール部ユニフォーム等、教育用備品の支援を行ってまいりました。

下期においては、プールの照明が古く照度も低いため、安全性の確保を目的としてリニューアルする計画があります。また、部活動で活躍している生徒への活動支援も検討しております。

引き続き、学校が早急に対応しにくい施設・設備の整備や生徒活動・部活動に必要な備品購入などの検討を行い、生徒や教職員の皆様が安全かつ快適に過ごしやすい環境にする為の支援、前向きに活動する為の支援を行ってまいります。

先日開催された増穂祭では、2日間に渡り恒例の後援部カフェを開きました。毎年交流館で開催しておりますのでご存じの方も多く、天候にも恵まれた為、2日間で1,511人の方々にご利用いただきました。増穂祭での憩いの場として、ちょっとした休憩の場として、沢山のお菓子を用意しました。想定以上の賑わいにお菓子や飲料の買い増しをする程でした。また、後援部アンケートと題して皆様のご意見を頂戴しました。そのアンケートの内容を今後の後援部活動にも活かしてまいりたいと思います。来年も後援部カフェは開催予定になっておりますので、是非、ご利用して頂ければと思います。

教科情報

国語科

生命保険作文受賞式

11月21日に、生命保険作文の授賞式が本校で行われました。本校からは10名の生徒が受賞し、その中でも都道府県別賞1等に1-Eの佐藤花音さんが選ばれました。1年生で1等をとるのは大変立派なことです。

2等以下は1年生から、原口佐和子さん。2年生から、矢島ほのかさん、樋口由佳さん。3年生から、樋口翔哉くん、高橋聖一くん、湯川紗衣さん、白井航太郎くん、坂口大晟くん、佐藤馨くんが選ばれました。

人災・天災・事故・病気などから家族を守るために、生命保険は非常に重要です。作文を通じて、今のうちから関心を持っておきましょう。



音楽科

音楽科活動紹介(高校グループ発表)

高校の音楽選択の授業では、グループ発表を行いました。任意のメンバーで曲、楽器、演奏形態を決め、約2か月の練習後、発表会を迎えました。ピアノ、マンダリンの独奏他、合唱、合奏、バンド、多彩な音楽が披露されました。緊張感を持って演奏し、お互いの演奏を鑑賞する事を経験し、有意義な時間となりました。今後の音楽活動に活かしていきたいと思っています。



Topics

弓道部

弓道部活動報告

11月3日、柏市弓道場で開催された新人戦地区予選会に、男女団体・個人合わせて24名が出場しました。このうち男子団体(三浦良太、半田洋久、地濃礼准)、個人(三浦良太、半田洋久、中島悠人、井料武琉)が県大会へ進出。個人の部で井料武琉が地区第5位に入賞しました。

翌週の県大会において決勝進出には至りませんでした。来年に向けた多くの課題を見つけることができました。現在は柏市学生リーグ戦にて一部リーグへの昇格をめざし、鋭意練習に励んでおります。

今後も一人ひとりが謙虚な姿勢で練習に取り組むことを期待しています。



指導者研修会を終えて

「夢中になれること」

私事ですが今年の5月～11月までの半年間、仕事の合間を縫ってコーチングライセンス取得の為に時間を費やしていました。諸事情により、この経験から得た教訓を皆さんにお伝えしなければならなくなってしまい、熟考した結果、タイトル通り「夢中になれること」を見つけてほしい、という想いに至りました。

文字数の関係でかなり省略しますが、簡単に言うと「なんとなく生きるな」ということです。いつか自分の青春時代を振り返った時にちゃんと胸を張れるものを見つけてください。それがきっとあなたの人生に彩りを加えてくれるはず。まだ見つからない人はとりあえず今以上に勉強に励みましょう(笑)。私がこの半年間を通じて得た知識や発見はもちろん、新たな出会いなんかもその賜物です。どうか実り多き青春時代を過ごしてください。

社会科

身のまわりの環境地図作品展

中学1年生の社会科では、夏休みの課題として「環境地図」を作製しています。本年の指定テーマは「れきし」ですが、ほかにも自由テーマとして「防災」や「環境問題」などさまざまなテーマの中から、一人ひとりが自らの関心に合ったものを選択しました。

毎年、優秀な作品を「私たちの身のまわりの環境地図作品展」に応募しています。本年は、1年B組の月津聡君の「ムルデルと利根運河」が国土地理協会会長賞に選ばれました。

他にも優秀な作品がかなり多く、現一年生の課題への意識の高さがうかがえます。この作品の作製を通し、身の回りの環境に関心を持ち、問題意識を持つきっかけにつなげてほしいと思います。



新しい先生

はじめまして

国語科 山崎 久美子

はじめまして。現代文を担当しています山崎久美子です。

趣味は読書と映画鑑賞です。特に暗いテーマのものが好きです。

10月から着任したので、まだまだ分からないことばかりですが、皆さんに助けてもらって、少し慣れてきたところです。

今後共、どうぞよろしくお願いたします。

保健体育科 平松 未来

10月より着任した平松未来と申します。保健体育を担当致します。

みなさんと出会うことができ大変うれしく思います。みなさんの学校生活が楽しく充実したものになるようサポートしていきたいです。

よろしくお願いたします。

卓球部

新人戦地区、県大会の報告

令和元年度高校新人卓球大会第12地区予選会に参加し、男子団体はリーグ2位で通過し2位トーナメントで勝利し県大会への出場が決まりました。また女子団体もリーグ2位で通過し、2位リーグで3勝し、県大会への出場が決まりました。女子ダブルスでは井出・増田ペア（高2・高1）が3位に入賞しました。男子シングルスでは前田（高1）が3位に、藤原（高2）は9位に入賞し県大会出場、女子シングルスでは井出（高2）増田（高1）倉持（高1）三浦（高1）が入賞し県大会に出場が決まりました。県大会では男女ともに団体戦は1回戦で負け、藤原（高2）が2回戦で惜敗しました。今回の県大会では勝ち抜く厳しさ、自分のプレーを見つめなおす良い機会になりました。今後の課題も見つけ、練習に活かしていきます。また、今回の大会で高1・2共に目覚ましい活躍をみせてくれました。

高校バドミントン部

快挙！県大会出場

10月に行われた千葉県第12地区新人大会において、男子団体戦（安西晴哉、芝山拓実、吉川駿平、伊東新太、鈴木阜仁、吉尾創太、仁科秀紀、大石凜太郎）が17団体中4位通過、ダブルス戦の安西晴哉・芝山拓実ペアがベスト8に入り、県大会への切符を手に入れました。メンバーは日頃から練習に積極的に取り組んでいた成果が実りました。

県大会では、ダブルス戦は惜しくも1回戦敗退でしたが、団体戦は久しぶりに1回戦突破となりました。彼らにとっては大変貴重な試合となり、さらにさらに練習に磨きをかけたいと思える試合になりました。1月には1年生大会が行われます。2年生のもつ技術を1年生も習得できるようがんばります。



吹奏楽部

中高吹奏楽部活動の報告

7月に行われたコンクールでは高校が「ピレネーを越えて」を演奏して銀賞を、中学が「『異国』より」を演奏して銅賞を受賞しました。続く文化祭では「吹奏楽パラダイス」をテーマに「グレイテスト・ショーマン」等練習の成果を発揮して演奏することができました。また昨年につき、芝浦工業大学附属中高の文化祭に高校生がゲスト出演しました。10月15日に行われた市内発表会では、中学生が文化祭でも演奏した2曲を演奏しました。11月9日の40周年記念式典では高校生が校歌と学園歌の合唱を披露しています。10日に行われたアンサンブルコンクールでは、中学の部でサクソフォーンが銀賞を受賞、クラリネットと金管は銅賞を受賞、同じく高校の部ではサクソフォーンが銀賞を受賞しました。現在は来年4月12日の定期演奏会に向けて準備をしています。

演劇部

県大会出場

高校演劇部は、秋の地区大会において優勝し、12/1に千葉県教育会館において行われた、第72回千葉県高等学校演劇研究中央発表会に出場しました。県大会では、県内各地区代表14校が関東大会を目指してしのぎを削る場です。本校は「アリとキリギリス」という作品で参加し、アリとキリギリスの悲しくも熱い友情の物語で場内の涙を誘い、優良賞と実行委員会照明賞を受賞しました。



水泳部

水泳部各大会報告

三輪 剛史

【水球男子関東大会】甲府東高校で行われ、1回戦を勝利しましたが2回戦敗退となりました。



【全国ジュニアオリンピック大会】京都で開催され、中学・高校女子が出場、高校女子は強豪に競り勝ちましたが、2回戦後の敗者復活戦で惜敗しました。



【競泳関東大会・インターハイ】

3年の山本さんが関東大会200m個人メドレー5位入賞、熊本インターハイでは13位となりました。



【国民体育大会】茨城県で開催され、2年の阿部さんが千葉県代表として出場、チームは5位入賞となりました。



【アジアエージ選手権水球大会】インド・バンガロールで開催され、同じく2年の阿部さんが本校3人目となる日本代表に選出されました。日本は5戦全勝で優勝、阿部さんも得点を挙げ、チームに貢献しました。



あごがき

「令和最初」「40周年」という言葉を行事でたくさん聞きました。時代や学校の節目の年であるからこそ、生徒たちが伝統と革新について熟考した表れかと思います。何かと節目の年度も残すところ3か月。新たな学年に向けて、準備をしましょう。